



図1 主要水準基標の累積沈下量
 図 (東京都建設局「平成28年「地盤沈下調査報告書」より)

懸念もあろうが、そのような詳細は今後2022年までに考えていけばよいであろう。

5. さいごに

「地理総合」の必修化に際してはこのような課題があるが、web, internet, smartphone というツールを活用し、良きノウハウを公開し、ベテランの先生方の授業テクニックなどを継承したいと考えている。どこでこれらを公開するのかはまだ具体的には考えていない。この原稿はこのような突飛ともいえる私見を世に問う、観測気球としての意味もある。

今後は、このような考えにご興味のある方々と連携しながら、充実した「地理総合」の授業の普及のために、

地理教材の共有化を目指していきたいと考えている。

〈註〉

- 1) 東京都教育委員会 http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/school/study_material/tradition/edokaratokyohe.html

(しばた よしひこ／

東京都立国分寺高等学校指導教諭)